

様式第1（第4条関係）

特定施設設置（使用、変更）届出書

年 月 日

旭川市長 殿

届出者

ダイオキシン類対策特別措置法第12条第1項（第13条第1項又は第2項、第14条第1項）の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※整理番号	
工場又は事業場の所在地		※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類		※施設番号	
△特定施設の構造	大気基準適用施設にあっては別紙1、水質基準対象施設にあっては別紙4のとおり。	※審査結果	
△特定施設の使用の方法	大気基準適用施設にあっては別紙2、水質基準対象施設にあっては別紙5のとおり。	※備考	
△排出ガス又は汚水若しくは廃液の処理の方法	大気基準適用施設にあっては別紙3、水質基準対象施設にあっては別紙6のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類欄には、大気基準適用施設にあってはダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第1、水質基準対象施設にあっては同令別表第2に掲げる号番号及び名称を記載すること。
 - 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 3 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 4 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 5 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

別紙 1

特定施設（大気基準適用施設）の構造

工場又は事業場における施設番号			
特定施設号番号及び名称			
型 式			
施設の設置場所			
設置年月日		年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規	原料の処理能力 (t/h)		
	変圧器の定格容量 (KVA)		
模	炉 の 容 量 (t)		
	焼 却 能 力 (kg/h)		
	火 床 面 積 (㎡)		
そ の 他 参 考 と な る べ き 事 項			

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、令別表第1に掲げる施設に係る項目について記載すること。
- 3 特定施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付のこと。

別紙 2

特定施設（大気基準適用施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号			
使用状況	1日当たりの使用時間及び月使用日数等	時～ 時 日/月	時～ 時 日/月
	季節変動		
原料及び燃料（ダイオキシン類の発生に影響のあるものに限る）	種類		
	使用割合		
	原料又は燃料中の塩素分の成分割合（%）		
	1日の使用量		
排出ガス量（m ³ /h）		最大 通常	最大 通常
排出ガス温度（℃）			
排出ガス中の酸素濃度（%）			
排出ガス中のダイオキシン類の濃度（ng-TEQ/m ³ ）		最大 通常	最大 通常
その他参考となるべき事項			

- 備考
- 1 廃棄物焼却炉にあつては、種類の欄には、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くずその他の廃棄物の種類を、使用割合の欄には、廃棄物の種類ごとの焼却割合を記載すること。
 - 2 排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態（以下「標準状態」という。）における量に、排出ガス中のダイオキシン類の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとす。
 - 3 ダイオキシン類の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
 - 4 その他参考となるべき事項の欄には、排出ガスの排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出ガス量の変動の状況を記載のこと。

別紙 3

発生ガスの処理の方法

工場又は事業場における施設番号		
名称及び型式		
発生ガスの処理の内容		
処理の系統		
施設の設置場所		
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 発生ガスの処理に係る施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

(別紙)

廃棄物焼却炉である特定施設からのばいじん・焼却灰の処理等

ばいじんを焼却灰と分離して排出し、貯留する設備		1. 有	2. 無	
ばいじん	発生量	kg/日		
	搬出設備	仕様 ()		
	処理	1. 無処理 2. 熔融固化 3. セメント固化 4. 薬剤処理 5. 酸による抽出 6. 他施設での処理 () 7. その他 ()		
	DXNs濃度	処理前	ng-TEQ/g、処理後 ng-TEQ/g	
	貯留設備	1. 有	m ³ × 槽 (日分)、材質 2. 無	
処分先等	1. 埋立 () 2. 資源化 () 3. その他 ()			
焼却灰その他燃え殻等	焼却	発生量	kg/日	
		冷却装置	1. 湿式法 2. 半湿式法 3. 乾式法 4. 自然冷却	
	その他燃え殻等	搬出設備	仕様 ()	
		磁選機	1. 有 (仕様)	2. 無
		処理	1. 無処理 2. 熔融固化 3. セメント固化 4. 薬剤処理 5. 酸による抽出 6. ばいじんと混合処理 7. 他施設での処理 () 8. その他 ()	
		DXNs濃度	処理前	ng-TEQ/g、処理後 ng-TEQ/g
		貯留設備	1. 有	m ³ × 槽 (日分)、材質 2. 無
	処分先等	1. 埋立 () 2. 資源化 () 3. その他 ()		
	再燃焼室下部飛灰	1. 焼却灰と混合処理	2. ばいじんと混合処理	3. その他 ()
	ボイラ下部飛灰	1. 焼却灰と混合処理	2. ばいじんと混合処理	3. その他 ()
減温塔飛灰	1. 焼却灰と混合処理	2. ばいじんと混合処理	3. その他 ()	
廃ガス洗浄施設排出汚泥	発生量	kg/日		
	搬出設備	仕様 ()		
	処理	1. 無処理 2. 焼却灰と混合処理 3. ばいじんと混合処理 4. 熔融固化 5. セメント固化 6. 薬剤処理 7. 酸による抽出 8. 他施設での処理 () 9. その他 ()		
	DXNs濃度	処理前	ng-TEQ/g、処理後 ng-TEQ/g	
	貯留設備	1. 有	m ³ × 槽 (日分)、材質 2. 無	
	処分先等	1. 埋立 () 2. 資源化 () 3. その他 ()		
備考				

※ 過去において、ばいじん等のDXNs濃度を測定している場合は、測定結果を添付すること。